

中学校における水泳の授業のあり方についてのアンケート結果

1 調査目的

江南市では現在、老朽化した学校プールの維持管理費の増大、熱中症への警戒及び水着姿への抵抗感といった児童生徒の体調面やジェンダーへの配慮、民間プールの活用枠の拡大など様々な課題を抱えております。

また、近年、適切な水泳場の確保が困難な場合に、水泳の実技授業を廃止することができるとして、全国の公立中学校において実技授業を廃止する動きがあります。

こうした現状において、中学校における水泳の授業のあり方について検討するため、本アンケート調査を実施しました。

2 調査対象

市内公立の小学校5年生・6年生（①）、中学校1年生～3年生（②）及びその保護者（③）

3 調査期間

令和8年5月7日（木）～21日（木）

4 調査方法

WEB形式でアンケートを実施

5 回収結果

①小学校5年生・6年生 1,689名のうち1,479名 回答率87.6%

②中学校1年生～3年生 2,467名のうち1,778名 回答率72.1%

③保護者 アンケート対象児童生徒4,156名のうち2,448名

※1 児童生徒数は令和8年5月1日現在の児童生徒数

※2 保護者は、アンケート対象の児童生徒が複数いる場合は、まとめて一つの回答としているため回答率は不明